

4 年次通年・必修**1 単位・30 時間**

【概要・目的】

本科目は、統合実習Ⅱにあたって、学生が主体的に選択した実習分野の活動を目標化し、活動後の評価・考察を通して管理的な視点が成長するように学ぶ。

【到達目標】

- 1) 選択した分野の実習活動の目標を明確にし、計画の立案ができる。
 - 2) 実習後、学生は、評価・考察を通して学び得た保健看護管理の問題意識を概念化できる。
 - 3) 概念化した学習成果をプレゼンテーションし、学びを共有できる。
 - 4) 保健看護管理における看護職者の責務・権限・自律性が理解できる。
-

【内容・スケジュール】

1) 事前ガイダンス

- ・実習方法の概要および関連する実習施設や受け入れ状況について説明を受け、実習施設を選択する。

2) ～10) 主体的学習活動の目標の明確化および計画立案

- ・保健看護管理に関する問題意識を明確にする。
- ・実習施設における学習活動を具体的に目標化する。
- ・実習計画を立案し、実習施設との交渉及び調整を図る。

11～15) 実習後の評価・考察

- ・目標化した学習活動の結果について評価・考察する。
 - ・学生主宰による学習成果発表の場を企画し、ディスカッションを通して管理的視野を広げる。
 - ・レポートを作成する。
-

【評価】

演習目標（評価表）に沿って、レポートおよびワークショップ等の参加状況を総合して評価する。

（個人のレポートには、演習自己評価表を添付して提出すること）

評価責任者：水田真由美

【教科書】

特に設定していないが授業資料および参考文献を活用すること

【推薦参考図書】

随時紹介する

【その他】

演習の時期・時間は、別途通知する。

選択した施設における活動のレディネス（学習する際の基礎条件となる一定の知識・経験・身体などができあがっている状態）を十分高めておく。

統合実習の事前事後の学習活動については、担当教員への報告・連絡・相談を行い、主体的に行うこと。